

IV 特色ある教育活動



(1) 新しい時代に対応する資質・能力を育成する

- 生命や人権を尊重する精神や感性を育むとともに、学びに向かう力を育み、主体的に学習に取り組むことで、知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力等の育成を図る。
- 思いやりの心や協調性、道徳性、感受性やコミュニケーション能力を育むことができるように、異年齢集団活動として、なかよし遊び・なかよし給食などの日常的な活動を充実させ、全校遠足・児童集会等の活動との関連を図り実施できるようにする。
- 各教科等で育む論理的・創造的な思考力を基盤として1人1台端末等のICT機器を児童自身に日常的に使用させることで、プログラミング的思考の育成や新たな学習方法の獲得を進め、学習活動の質的充実を図る。
- これまでのオリンピック・パラリンピック教育を生かして、体育学習の充実や体力の向上を図るとともに、運動習慣確立のための取組や個に応じた支援の充実を図る。
- 感染症やその予防に関する知識や意欲を、体育科保健領域や家庭科、定期的・日常的な保健指導を通して育成し、健康の保持増進を図ろうとする態度の育成を目指す。

(2) グローバルな社会で活躍する人材を育成する

- 「学びのキャンパスプランニング」等を積極的に活用し、「学びのエリア」である上野の森の自然や歴史、人材・文化施設を生かした学習や地域人材を招聘した学習に取り組む。
- おもてなしの心を体現するあいさつ活動を一層推進するとともに、学んだことを積極的に生かして自己の生活をよりよく変えようとする意欲を育む。自立・自律した人間として責任感をもち、他者と共によりよく生きようとする・生き方を考える学習に取り組む。

(3) 多様なニーズを具現化する教育を展開する

- 難聴・言語障害通級指導学級や特別支援教室の教員による通常の学級での理解啓発授業や年間を通じた授業観察、学級担任との情報共有の実施により合理的配慮を拡大し、特別支援教育・ユニバーサルデザインの教育の推進を図る。
- 21.5世紀に活躍する児童の未来像をもとに、そこで必要な資質や能力を育てるため、自己調整しながら進める学習等に関する研究を深め、教員の指導力を高め、授業改善を図る。

(4) 持続可能な社会を創造する教育を展開する

- 教育内容の可視化・発信方法のデジタル化に努める。子供の思いやWeb機能での保護者評価等を通して得られた保護者のニーズを受け、授業や行事等の内容改善を進める。双方向のやり取りを通して、組織を活性化させ、PDCAサイクルを充実させる。
- 近隣校園や社会教育施設との連携組織を生かし、指導の系統性・学びの継続を重視した教育活動を展開する。



あいさつ大使



全校遠足



長なわチャレンジ

V 校内研究の充実

令和4・5年度 台東区教育委員会研究協力学校

21.5世紀を拓く 学びが変わる!学校が変わる!

個別最適な学びを実現する生活科・総合的な学習の時間の授業づくり

- 視点① 自ら選択する課題や学び方、学習計画
- 視点② 学びの空間を広げ・深める学びの空間
- 視点③ 学びの質保証を支える教師の役割



令和5年11月22日(水) 研究発表会